

愛知県立芸術大学 大学院
学生募集要項

美術研究科
博士
前期課程

平成 **23** 年度

愛知県立芸術大学のアドミッション・ポリシー

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また愛知が生んだ芸術文化の拠点として国際的に開かれた芸術文化の核となることを目指し、次の三つの理念をかかげます。

- 1) 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化にたずさわる優れた人材の育成を目指します。
- 2) 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指します。
- 3) 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指します。

その理念と目的に適う人材の育成のために、それぞれの専門分野にふさわしい資質をもつ次のような学生を求めています。

- 芸術を創作・研究する強い意志と感性を持ち、実技の基礎能力がある人
- 美術界、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人
- 広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

●美術研究科博士前期課程アドミッション・ポリシー

大学院美術研究科は平成 21 年 4 月より博士前期課程、後期課程を設置しました。研究科博士前期課程は一専攻 6 領域とし拡大する芸術表現研究を可能とする体制としています。博士後期課程はより高度な芸術表現研究を行える環境を整えています。このような環境において目的意識と研究意欲の高い学生を求めています。また、高度な美術表現研究により、将来の美術、芸術界を担うべく人材を求めています。

◆日本画領域

学部で身に付けた日本画の基礎の上に実践的な専門の作家として創作活動を行い、更に高度な学術的な研究が出来る人材を求めています。

- 日本画制作に対して飽くなき探究心を持ち合わせている人。
- 心身ともに健全で忍従性に富む人。

◆油画・版画領域

油画・版画領域では、以下のような人材を求めています。

- 絵画、あるいは、そこから派生する多様な造形領域において、「世界」に広く通用するような個性豊かな表現をめざす人。
- 作品制作を通じて得た独自の興味や問題意識を掘り下げる意欲と追求する努力を惜しまない人。

◆彫刻領域

彫刻領域では、学部において目指した教育を前提に、立体を中心とした様々な先鋭的、学際的な研究・創作を試みます。一専攻化の利点を最大限に活かして各自が作成する履修プログラムの実施とその成果に基づいた試行の過程から、独自の研究・創作を導き出すことに努力を惜しまない学生を求めています。

- 自己管理能力と協調性をあわせ持つ人。
- 先入観に拠らず、自身の考えに対して絶えず異なった観点からの問いを発し、自身の研究と創作によってその答えを模索しようとする人。
- 様々な学問や文化を理解するための地道な努力を厭わない人。
- 専門領域における高い造形能力および、思考能力を有する人。

◆芸術学領域

芸術学領域は、少人数制を生かし、フェイス・トゥ・フェイスの密度の高い指導を通じて、高度な専門家——美術史・美術理論の研究者、学芸員、美術評論家、美術ジャーナリスト、アート・マネジメントや文化財保存の専門家等——の養成を目標として、次のような院生を求めています。

- 専門領域(日本美術史、西洋美術史、美学、現代アート論)に関する基礎知識を有する人。
- 観察力・考察力・論理性に卓越し、語学力にも優れている人。

◆デザイン領域

デザイン領域は、デザインの多様化、高度化に対応する研究基盤を持つ 11 の研究室によって構成されています。求める人物像は次の通りです。

- 明快な研究テーマを持ち、計画的に実行できる人。
- 創造力、探求心、発想力が豊かな人。
- 他の研究領域との多角的な視野を持てる人。
- より高度な研究への意識のある人。

◆陶磁領域

陶磁領域は少人数制を生かし、密度の高い指導を通じて高度な造形力、発想力、描写力、構成力を身につけ、陶磁器業界をリードしていく人材養成を目的として次のような資質をもつ大学院生を求めています。

- 専門領域に関する基礎能力を有する人。
- 陶磁素材の可能性と表現において探究心旺盛な人。

●美術研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシー

大学院美術研究科博士前期課程は、それぞれの研究領域での卓越した芸術性、優れた専門性を追究しています。実技能力の向上を図り、理論的構築に裏付けられた研究を評価の対象とします。主研究領域の指導教員だけでなく全ての研究室から様々な指導を受けられる体制をとっており、幅広い研究指導が受けられます。所定の単位取得と修了制作、修士論文等により審査を行い学位を授与します。

平成 23 年度愛知県立芸術大学大学院美術研究科
博士前期課程学生募集要項

1 募 集 人 員

美 術 研 究 科	美 術 専 攻	領 域	募集人員
		日本画	40 名
油画・版画			
彫刻			
芸術学			
デザイン			
陶磁			

2 出 願 資 格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 23 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により、学士の学位を授与された者及び平成 23 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 23 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 23 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの

※ 出願資格(8)により出願しようとする者は、必ず平成 22 年 10 月 15 日（金）までに学務課に申し出て、その指示を受けてください。

3 出願期間及び出願方法等

- (1) 出願期間
平成 22 年 11 月 22 日(月)から 12 月 3 日(金)までの郵便局消印のあるもの
- (2) 願書の受付はすべて所定の封筒を用い「書留郵便」による郵送に限ります。
普通郵便及び直接持参は受理しません。
- (3) 封筒の表の志望領域名を○で囲んでください。

4 出願書類

(1)、(4)、(6)、(7)、(8)については、本募集要項に綴じ込んである用紙を用いてください。

本学卒業者及び本学卒業見込みの者は、(2)、(3)の書類は不要です。

(1) 入学願書

願書に記入する氏名は必ず戸籍と同一のものを記入してください。その他の提出書類についても同様です。

(2) 出身大学の成績証明書

出身大学長又は学部長が作成したもの

(3) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書

(注1) 学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位証の写し、授与見込の者については学位授与機構による授与申請を受理した証明書(学位授与申請受理証明書)

(4) 写真 2枚(縦4cm×横3cm)

正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影した同一の写真を、受験者写真票及び受験票に貼付してください。

(5) 受験許可書

現在教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で服務義務のある者は、所属長の受験許可書を、また大学院に在学中の者は、当該大学長の受験許可書を添付してください。(様式は随意)

(6) 返信用封筒 1枚(受験票等送付用)

自己の受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、速達郵便料分(350円)の切手を貼付してください。

(7) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料は、振込依頼書により必ず金融機関の窓口から入金してください。

ATMからは入金しないでください。

イ 検定料納付証明書を検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

ウ 振込依頼書の「ご依頼人」欄は受験生本人の氏名を記入してください。

(8) その他

ア 願書受理後は、既納の入学検定料は、還付しません。

イ 提出書類の不備のものは、受理しません。

ウ 訂正した箇所には、必ず訂正印を押してください。

エ 受験票は、入学手続の時まで大切に保管してください。

オ 外国人留学生は、各出願書類の日本語訳を添付してください。

5 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障がい等を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

平成22年10月15日(金)まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、学務課まで書面で申し出てください。

①志望領域 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項

④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は次ページによります。

(3) 相談の時期

平成 22 年 11 月 5 日(金)まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯 1-114 (〒480-1194)

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 学務課

電話 0561-62-1180 (代表) (照会時間午前 9 時から午後 5 時まで)

ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除きます。

7 選 抜 方 法

入学者の選抜は、領域別に行います。

試 験 場 本 学

8 合 格 発 表

(1) 日 時 平成 23 年 2 月 21 日(月)午前 11 時

(2) 場 所 本 学 管理棟で掲示します。

※ 合格者には、入学許可通知書及び入学手続要領を郵送します。

※ 本学ホームページにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが入学許可通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

ホームページアドレス <http://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

9 入 学 手 続

(1) 手続日

平成 23 年 3 月 27 日 (日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時

(2) 場 所

本学管理棟 3 階

(3) 納入金

ア 入学料 282,000 円

イ 授業料(前期分)267,900 円(平成 23 年 4 月 1 日付で出願時の住所に授業料振込依頼書を送付します。)

(入学料及び授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。平成 23 年度入学料及び授業料は、改定されることがあります。)

(4) 入学料振込にあたってのお願い

- ・合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料を納入し、所定の提出書類及び入学料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
- ・入学料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。ATM からは入金しないでください。
- ・振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**受験生本人の氏名**を記入してください。

(5) この手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

10 試験日程及び試験科目

領域	日本画	
試験日	平成 23 年 2 月 13 日（日）	
時間	10:00～14:00	14:00～
試験内容及び方法	デッサン（人体） ※持参すべき試験用具 鉛筆、消しゴム、ナイフ	作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について ①作品：6ヶ月以内に制作した未発表の日本画 50 号 2 点 ②写真資料 1 冊（過去 4 年以内の作品・デッサンの写真を A4 サイズファイル 1 冊に入れる。） ③模写・保存修復の希望者は、自己の研究分野について 800 字以内のレポートを提出
※提出すべき作品等について 【提出場所】 日本画会議室 【搬入日及び時間】 平成 23 年 2 月 12 日（土）10:00 から 16:00 まで 【搬入方法】 受験者本人が行うこと。 【搬出日及び時間】 平成 23 年 2 月 13 日（日）全試験終了後から 16:00 まで 平成 23 年 2 月 14 日（月）9:00 から 12:00 まで 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2月12日（土）の10:00から15:00に必着とする。 ②届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学日本画）及び出願者氏名を記入する。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ⑤提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。 ※志望する研究分野については、出願前に希望する研究指導教員まで連絡することが望ましい。		

領域	油画・版画	
試験日	平成 23 年 2 月 13 日（日）	
時間	9:30～	
試験内容及び方法	作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について ①提出作品は 2 点以内（版画の場合 3 点以内） ・平面作品の場合、1 点 270×200cm 以内 ・版画作品の場合、1 点 200×200cm 以内 ・立体、その他の場合 1 点 270×200×200cm 以内（映像作品の場合、映写機・パソコン等ハードウェアと共に、使用説明書を添えて提出すること。） ※206×100cm のドアから搬入可能なもの ②ドローイング等のファイル 1 冊（ファイルに綴じていないものは受け付けない。） ③写真資料ファイル 1 冊（過去 4 年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。）	
※提出すべき作品等について 【提出場所】 油画アトリエ 【搬入日及び時間】 平成 23 年 2 月 12 日（土）10:00 から 15:30 までに受付を済まし、16:00 までに設置を完了すること。 【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。 【搬出日及び時間】 平成 23 年 2 月 13 日（日）全試験終了後から 17:30 まで 平成 23 年 2 月 14 日（月）9:00 から 12:00 まで 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2月12日（土）10:00から14:00に必着とする。 ②届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学油画アトリエ）及び出願者氏名を記入する。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ⑤提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。		

領域	彫刻	
試験日	平成 23 年 2 月 12 日 (土)	平成 23 年 2 月 13 日 (日)
時間	15:30~16:30	10:00~
試験内容及び方法	論述(辞書は使用不可) 400 字原稿用紙 2 枚以内	作品審査及び面接
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>①近作 1 点(重量制限約 1 トン以内、映像を用いたもの場合は 5 分以内とし VHS ビデオテープ、DVD 若しくは CD メディアに収め、ウィンドウズメディアプレーヤー若しくはクイックタイムメディアプレーヤーによって再生可能なものとする。)</p> <p>②ポートフォリオ(サイズは A4 以上とし、オリジナル作品も可)</p> <p>【提出場所】 彫刻会議室</p> <p>【搬入日及び時間】 平成 23 年 2 月 12 日(土) 10:00 から 15:00 までに設置を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行うこと。 *作品搬入、設置に特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に彫刻専攻会議室へ連絡し、相談すること。 *安全衛生管理上、支障のある作品は受理しません。</p> <p>【搬出日及び時間】 平成 23 年 2 月 13 日(日) 16:00 から 17:00 まで 平成 23 年 2 月 14 日(月) 9:00 から 11:00 まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2 月 11 日(金)の 10:00 から 16:00 に学務課へ必着とする。 ②届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学彫刻)及び出願者氏名を記入する。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④作品の提出及び手続きは、2 月 12 日(土)に本人が梱包を解き行うこと。 ⑤作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前にしておくこと。 ※志望する研究分野については、出願前に希望する研究指導教員まで連絡することが望ましい。</p>		

領域	芸術学		
試験日	平成 23 年 2 月 13 日 (日)		
時間	10:00~12:00	13:00~15:00	15:30~
試験内容及び方法	外国語試験 外国語(英・独・仏・伊)のなかから 2 科目を選択受験、あるいは英語と日本古典語(古文・漢文)の 2 科目を受験する。	論述試験 「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」のなかから 2 科目(そのうち一つは必ず志望研究分野の科目)を選択受験する。	面接
<p>※提出すべき論文について</p> <p>志望研究分野(「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」)に関する論文(卒業論文等)を提出する。論文には 2,000 字程度の要旨を添付すること。外国人受験者も、必ず 2,000 字程度の日本語で書かれた要旨を添付すること。</p> <p>【提出先】 愛知県立芸術大学学務課</p> <p>【提出日】 平成 23 年 1 月 4 日(火)から 7 日(金)まで (最終日の午後 5 時までに郵便で必着とする。)</p> <p>【提出方法】 封筒(A4 サイズの入る大きさ)に入れ、「美術研究科博士前期課程芸術学提出論文」と朱書し、書留郵便で郵送すること。</p> <p>【注意事項】 他大学から受験する者は、出願前に志望研究分野の本学教員と連絡を取り、大学院での研究内容等について相談することが望ましい。</p> <p>*平成 23 年 3 月本学芸術学専攻卒業見込みの者で、卒業論文が研究科における志望研究分野と一致する者は、論文ならびに要旨を提出しなくてもよい。</p>			

領域	デザイン
試験日	平成 23 年 2 月 13 日 (日)
時間	9:30～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について</p> <p>①作品及び資料ファイル ②研究科 2 年間の研究テーマ等 (研究テーマ、研究内容、研究計画書を A4 用紙に記入、枚数自由) 映像あるいはデジタルデータ作品は、ビデオ・モニター・パソコン等を各自で準備し、上映できる状態に設置すること 注意事項：面接時間は、2 月 12 日 (土) の搬入時に指示する。</p>
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>【提出場所】 ①作品：デザイン棟 2 階指定場所 ②研究科 2 年間の研究テーマ等：デザイン会議室</p> <p>【搬入日及び時間】 平成 23 年 2 月 12 日 (土) 13:00 から 16:00 までに設置すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 平成 23 年 2 月 13 日 (日) 全試験終了後から 18:00 まで 平成 23 年 2 月 14 日 (月) 9:00 から 11:00 まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を依頼する場合 ①2 月 12 日 (土) 13:00 から 16:00 の搬入時間内にデザイン棟必着とし、運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ②届先欄に、あて先 (愛知県立芸術大学デザイン) 及び出願者氏名を記入する。 ③梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ④作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。 ※志望する研究分野については、出願前に希望する研究指導教員まで連絡することが望ましい。</p>	

領域	陶磁	
試験日	平成 23 年 2 月 13 日 (日)	
時間	10:00～12:00	13:00～16:00
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接 ※提出すべき作品等について</p> <p>①3 点 (6 ヶ月以内に制作した作品、セットものは 1 点とする。)</p>	<p>実技 (平面表現) ※持参すべき試験用具</p> <p>①平面表現に必要な用具 (自由) ②用紙は本学で用意したものを使用する。</p>
<p>※提出すべき作品等について</p> <p>【提出場所】 陶磁実習棟 (講義室)</p> <p>【搬入日及び時間】 平成 23 年 2 月 12 日 (土) 14:00 から 16:00 まで</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に展示すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 平成 23 年 2 月 13 日 (日) 試験終了後 16:00 から 16:30 までに本人が行うこと。</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 ①2 月 12 日 (土) の 12:00 から 14:00 に必着とする。 ②運送業者からの受け取りは本人が行うこと。 ③届先欄に、あて先 (愛知県立芸術大学陶磁) 及び出願者氏名を記入する。 ④梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 ⑤作品の搬入手続き及び展示は、2 月 12 日 (土) に本人が梱包を解き行うこと。 ⑥作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。 ※志望する研究分野については、出願前に希望する研究指導教員まで連絡することが望ましい。</p>		

注

- 1 選抜試験時間が午前、午後にはわたるものは、12:00 から 13:00 までを昼食時間とします。
なお、特別の指示がない限り、この時間帯での制作はできません。
- 2 提出作品及び作品写真等には綴じ込みの提出作品貼付用紙を貼ってください。
なお、提出作品貼付用紙が不足の場合は、適宜コピーして貼付してください。
- 3 試験開始時刻の 30 分前までに所定の場所に集合してください。

11 美術研究科の研究室一覧（平成23年4月1日予定）

美術専攻	領域	研究室	研究分野
	日本画	松村 公嗣 研究室	日本画
角島 直樹 研究室		日本画・模写	
秦 誠 研究室		模写・保存修復	
岡田 眞治 研究室		日本画	
吉村 佳洋 研究室		日本画・模写	
岩永 てるみ 研究室		模写・保存修復	
油画・版画	久保田 裕 研究室	絵画	
	小林 英樹 研究室	絵画・絵画理論	
	山本 富章 研究室	絵画表現・立体	
	寺内 曜子 研究室	立体・空間・インスタレーション	
	設楽 知昭 研究室	絵画・現代美術	
	阿野 義久 研究室	絵画表現	
	倉地 久 研究室	版画・版表現	
	額田 宣彦 研究室	絵画	
	増田 直人 研究室	絵画・インスタレーション	
	井出 創太郎 研究室	版画	
	白河 宗利 研究室	絵画・技法材料	
大崎 宣之 研究室	版画・現代美術		
彫刻	今井 瑾郎 研究室	空間芸術	
	大塚 道男 研究室	彫刻(木彫・石彫)	
	土屋 公雄 研究室	環境芸術	
	神田 每実 研究室	複合表現	
	竹内 孝和 研究室	立体表現	
	森北 伸 研究室	彫刻・絵画	
芸術学	森田 義之 研究室	西洋美術史	
	熊田 由美子 研究室	日本美術史	
	中 敬夫 研究室	美学・芸術哲学	
	小西 信之 研究室	現代アート論	
デザイン	長谷 高史 研究室	環境・プロダクトデザイン・デザイン理論	
	野田 理吉 研究室	環境・建築・インテリアデザイン	
	細川 修 研究室	プロダクトデザイン・クラフト	
	白木 彰 研究室	視覚伝達デザイン	
	中島 聡 研究室	プロダクトデザイン・ユニバーサルデザイン	
	今尾 泰三 研究室	視覚伝達デザイン・グラフィックアート	
	石井 晴雄 研究室	メディアデザイン・メディアアート	
	水津 功 研究室	環境・ランドスケープデザイン	
	柴崎 幸次 研究室	メディアデザイン・環境デザイン	
	森 真弓 研究室	メディアデザイン	
佐藤 直樹 研究室	視覚伝達デザイン・タイポグラフィデザイン		
陶磁	川村 秀樹 研究室	陶磁・創作研究(デザインと造形)	
	太田 公典 研究室	陶磁・工芸技法(紋様・造形)	
	友岡 秀秋 研究室	陶磁・プロダクトデザイン	
	梅本 孝征 研究室	陶磁・工芸技法(紋様・造形)	
	長井 千春 研究室	陶磁・プロダクトデザイン	
	佐藤 文子 研究室	陶磁・工芸技法(紋様・造形)	

12 教員組織（平成 22 年 4 月 1 日現在）

学 長	磯見 輝夫		
美術研究科長	長谷 高史		
客 員 教 授	田 淵 俊夫（日本画）	歌 田 眞介（油画）	
	北 川 フラム（彫刻）	森 田 恒之（芸術学）	
	船 曳 鴻紅（デザイン）	白 石 和己（陶磁）	
日 本 画	教授 松村 公嗣	教授 角島 直樹	
	教授 秦 誠	准教授 岡田 眞治	
	准教授 吉村 佳洋	准教授 岩永 てるみ	
油 画 ・ 版 画	○教授 久保田 裕	教授 小林 英樹	
	教授 山本 富章	教授 寺内 曜子	
	教授 設楽 知昭	准教授 阿野 義久	
	准教授 倉地 久	准教授 額田 宣彦	
	准教授 増田 直人	准教授 井出 創太郎	
	准教授 白河 宗利	講師 大崎 宣之	
彫 刻	教授 今井 瑾郎	教授 大塚 道男	
	教授 土屋 公雄	准教授 神田 每実	
	准教授 竹内 孝和	准教授 森北 伸	
芸 術 学	教授 森田 義之	教授 熊田 由美子	
	准教授 中 敬夫	准教授 小西 信之	
デ ザ イ ン	教授 長谷 高史	教授 野田 理吉	
	教授 細川 修	教授 白木 彰	
	教授 中島 聡	准教授 今尾 泰三	
	准教授 石井 晴雄	准教授 水津 功	
	准教授 柴崎 幸次	准教授 森 真弓	
	准教授 佐藤 直樹		
陶 磁	教授 川村 秀樹	教授 太田 公典	
	教授 友岡 秀秋	准教授 梅本 孝征	
	准教授 長井 千春	講師 佐藤 文子	

○平成 24 年 3 月退職予定

13 入 試 情 報

(1) 平成 23 年度入試について

① 評価基準

	領 域	試 験 科 目	評 価 基 準
	美術 研究科 美術 専攻	日本画	実 技 デ ッ サ ン (人 体)
作 品 審 査			日本画制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
油画・版画		作 品 審 査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
彫刻		作 品 審 査	提出作品と写真作品を考慮し総合評価する。 (作品審査にかかる論述と面接を含む。)
芸術学		外国語試験	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
		論 述 試 験	専門領域に関する基礎知識、問題考察力、論理性をみる。
		論 文 審 査	論文の内容と水準をみる。
		面 接	適性、意欲をみる。
デザイン		作 品 審 査	デザインの研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
陶磁		実 技 (平面表現)	基礎的描写力に加え、画面構成力、造形力を評価する。
		作 品 審 査	陶磁制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)

② 点数配分

	領 域	実 技	作品審査	外国語試験	論述試験	面 接	合 計
美術 研究科 美術 専攻	日本画	500	500	—	—	—	1,000
	油画・版画	—	1,000	—	—	—	1,000
	彫刻	—	1,000	—	—	—	1,000
	芸術学	—	※300	300	300	100	1,000
	デザイン	—	1,000	—	—	—	1,000
	陶磁	300	700	—	—	—	1,000

※芸術学領域は、論文審査となる。

③ 入試結果の開示

愛知県個人情報保護条例に基づき、美術研究科美術専攻入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- i 開示請求できる範囲 科目別得点、総合得点、総合ランク（A、B、Cの3ランクでAを合格とする。）、順位
- ii 開示請求できる期間 最終合格発表日から1ヶ月間 午前9時から午後5時まで。
ただし、土・日曜日、祝祭日等大学事務局が休業となる日は除く。
- iii 開示請求の受付を行う場所 本学管理棟3階 管理課
- iv 開示の方法 本人部分のみ閲覧。
- v 開示請求に必要な書類 受験票のほか、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参してください。
- vi 開示請求方法 受験者本人が、口頭で本学管理課に申し出てください。
- vii その他 電話による問い合わせには応じません。また、郵送による結果の開示は行いません。

(2) 平成22年度入試について

① 入学試験実施状況

領域	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学辞退者数
日本画	40	12	11	7	7	0
油画・版画		33	31	14	14	0
彫刻		10	10	8	8	0
芸術学		3	2	2	1	1
デザイン		29	26	16	15	1
陶磁		9	9	7	7	0
計	40	96	89	54	52	2

② 試験問題

試験の種別	日本画領域 実技
試験日	平成22年2月7日（日）
時間	3時間
試験問題	裸婦の鉛筆デッサンをしなさい。

試験の種別	彫刻領域 論述試験
試験日	平成22年2月6日（土）
時間	1時間
試験問題	下記のテーマについて指定用紙に800字以内で論述しなさい。 テーマ「あなたの作品制作の動機とは」 辞書は使用不可

試験の種別	陶磁領域 実技
試験日	平成22年2月7日（日）
時間	3時間
試験問題	前のモチーフを、デッサンしなさい。（裸婦） 紙は以下から選択しなさい ・ギンガ紙 ・画用紙 ・木炭紙

試験の種別	芸術学領域 外国語及び論述試験
試験日	平成22年2月7日(日)
時間	各2時間
試験問題	下記参照(外国語試験については、掲載しない)

論述試験

[日本美術史]

問題

次の二問のうちから一問を選択して、論述しなさい(六〇〇字程度)。

- (一) 水墨画の成立と日本におけるその受容について述べなさい。
- (二) 平安後期から鎌倉前期の彫刻史における施主の役割について述べなさい。

[西洋美術史]

問題

次の二問のうちから一問を選択して、論述しなさい(六〇〇字程度)。

- (一) 「ルネサンス美術」と「バロック美術」のそれぞれの特徴と相違について述べなさい。
- (二) ヨーロッパのバロック美術から三人の芸術家を選び、その特徴について述べなさい。

[美学]

問題

次の二問のうちから一問を選択して、論述しなさい(六〇〇字程度)。

- (一) カント『判断力批判』における趣味判断の四つの契機の中から第一の契機(無関心の満足)について、具体例を挙げて説明しなさい。
- (二) ヘーゲル美学における三つの芸術形式(象徴的・古典的・ロマン的)について、歴史的かつ理論的に説明しなさい。

[現代アート論]

問題

次の二問のうちから一問を選択して、論述しなさい(六〇〇字程度)。

- (一) ミニマル・アートについて、具体的作家名を三人以上挙げつつ説明し、かつその歴史的意義について論じなさい。
- (二) 日本の浮世絵及びプリミティヴ・アート(特に未開美術)とモダン・アートの関わりについて具体例を挙げながら述べ、両者がモダン・アートにおいて果たした役割について論じなさい。

◆ 入学検定料、入学料、授業料の免除制度について

・ 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成22年11月15日(月)
---------	----------------

・ 入学料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- 3 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

問い合わせ期限	平成23年2月25日(金)
---------	---------------

・ 授業料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。

- 1 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- 2 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- 3 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- 4 上記1、2、3以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

問い合わせ期限	平成23年2月25日(金)
---------	---------------

◆ 問合せ先 学務部学務課 電話 0561-62-1180 (代表) 内線 434

提出作品貼付用紙

(愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 博士前期課程)

領 域 受験番号・氏名	領域 受験番号 氏名
出身大学学部学科名	大学 学部 科
作 品 名 (題 名)	
制 作 年 月 日	年 月 日

提出作品貼付用紙

(愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 博士前期課程)

領 域 受験番号・氏名	領域 受験番号 氏名
出身大学学部学科名	大学 学部 科
作 品 名 (題 名)	
制 作 年 月 日	年 月 日

提出作品貼付用紙

(愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 博士前期課程)

領 域 受験番号・氏名	領域 受験番号 氏名
出身大学学部学科名	大学 学部 科
作 品 名 (題 名)	
制 作 年 月 日	年 月 日

※提出作品貼付用紙が不足する場合は、コピーしてください。

振込にあたってのお願い

- ・振込用紙により、全国の金融機関（普通銀行、信託銀行、商工組合中央金庫、信用金庫、信用組合、労働金庫、信用農業協同組合連合会、農業協同組合、信用漁業協同組合連合会及び漁業協同組合の各店舗）の窓口で、お振込みください。

ATM（現金自動預払機）は、利用しないでください。

- ・振込手数料は、各自ご負担ください。

- ・郵便局及びコンビニでは、納付できませんのでご了解ください。

- ・この振込用紙は、機械で処理しますので、汚したり、曲げたりしないでください。

また、振込依頼書・受取書・検定料納付証明書は、ミシン線で切り離さないでください。

- ・本人確認法(*)の改正により、平成19年1月4日以降、金融機関の窓口で現金で10万円を超える振込を行う場合、本人確認のできる書類（運転免許証、健康保険証など）の提示を求められる場合がありますので、ご注意ください。

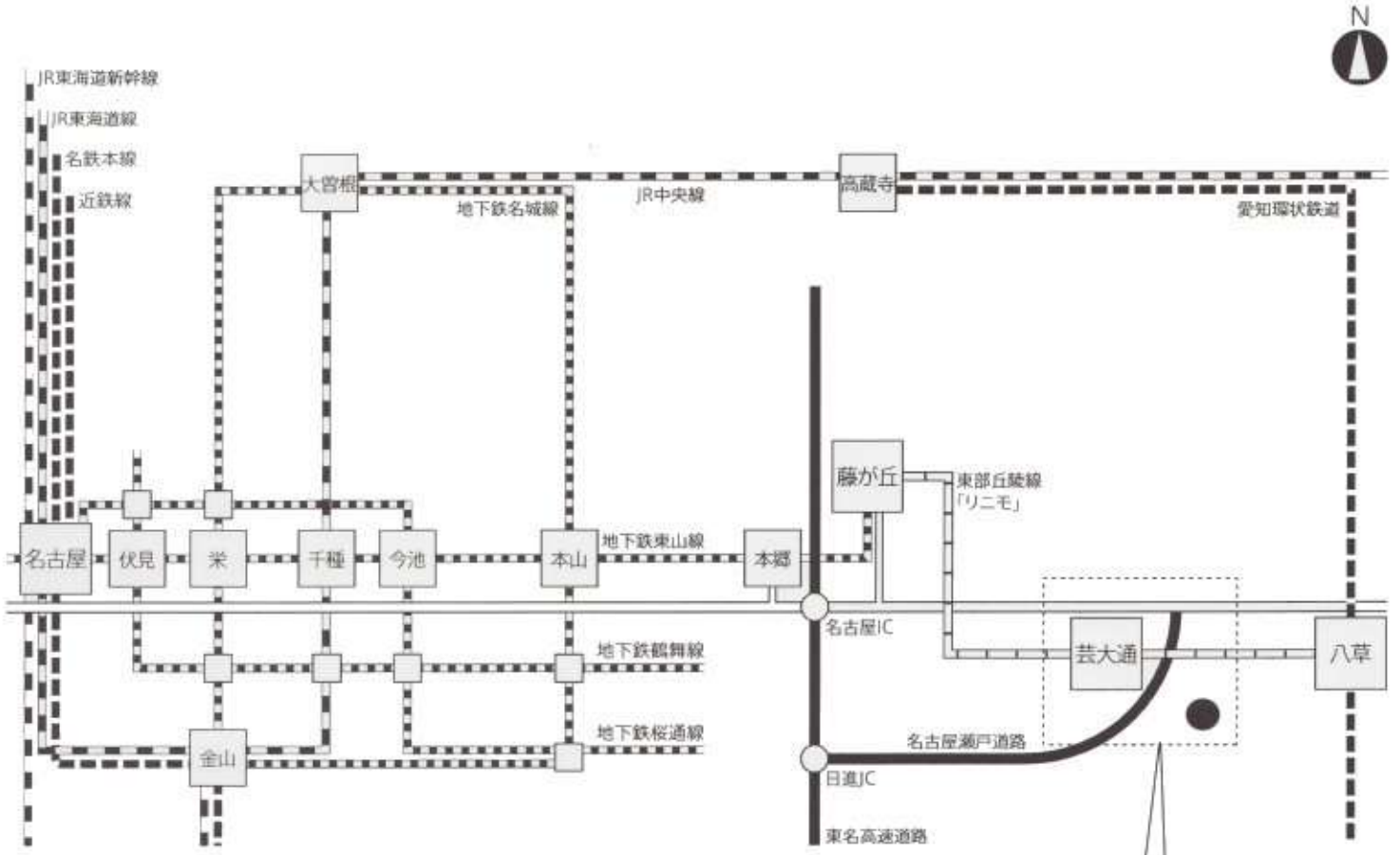
(*) 金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律

- ・記入例を参考に振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

- ・検定料納付証明書は検定料納付証明書貼付欄に貼付けてください。

アクセス

案内図



■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」
駅下車、徒歩約10分。

若しくは市営地下鉄東山線「本郷」駅又
は「藤が丘」駅からタクシーで約15分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵
線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分。



 Aichi Prefectural University of Fine Arts and Music

愛知県立芸術大学 大学院
学生募集要項
美術研究科博士前期課程

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学 学務課

〒480-1194
愛知県愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峯1-114
電話 0561-62-1180(代表)